

日本原子力学会標準

AESJ-SC-P006:2015

「原子力発電所の地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準:2015」

正誤表

No.	頁	箇所	誤	正
6 地震ハザード評価				
1	57	6.4.3 c)1)	(中略) 上下動と水平動の加速度応答スペクトル比は地震によらずほぼ一定であることに留意する。 【附属書 <u>AP</u> (参考) 参照】	(中略) 上下動と水平動の加速度応答スペクトル比は地震によらずほぼ一定であることに留意する。【附属書 <u>AQ</u> (参考) 参照】
7 建屋・機器フラジリティ評価				
1	129	7.6.4.4	$fc(a) = \Phi \left(\frac{\ln(a/A)}{\sqrt{\beta_{A,r}^2 + \beta_{a,u}^2}} \right) \dots (7.6.4-6)$	$fc(a) = \Phi \left(\frac{\ln(a/A)}{\sqrt{\beta_{A,r}^2 + \beta_{A,u}^2}} \right) \dots (7.6.4-6)$
附属書 A (規定) 地震 PRA の品質を確保するための方策				
1	156	A.2b)	次の 1) から <u>7)</u> の要領でピアレビューを実施する。	次の 1) から <u>9)</u> の要領でピアレビューを実施する。